

(ご参考：1/12) 経済関係ニュースレター（在シアトル総領事館）

ワシントン州日系企業・団体・レストラン関係者の皆様

在シアトル日本国総領事館経済班です。

本ニュースレターでは、当地の日系企業・団体、レストラン関係者の皆さまを含む在留邦人の方々へ、当地経済や日米関係等のニュースを「経済関係ニュースレター」として配信するものです。今後の配信を希望されない場合は、件名に「ニュースレター配信解除」と記入の上、[こちら](#)までメールを返送ください。

本日の参考情報を以下のとおりお知らせします。

このニュースレターでは、多くの方にご利用いただける有益な情報の提供があった場合、情報元を示して掲示しています。なお、このことは、総領事館として、情報元の団体・個人をいかなる意味でも宣伝・推薦するものではないことを申し添えます。

本ニュースレターを追加で受け取りたい方が周りにいらっしゃいましたら、

[こちらの登録フォーム](#)をご紹介ください。また、当地日系企業等に周知できる有益な情報などございましたらお知らせください。館内で確認し、公平・中立の観点から適切なものを本ニュースレター等で共有させていただきます。

在シアトル総領事館では別途、月1回の英語ニュースレター"From Japan to the Northwest"を配信しています。こちらでは日本に関する政治・外交等の情報や当館の活動などを発信しています。登録及び過去のアーカイブは[こちら](#)から。

日ワシントン州経済関連ニュース

(1) アラスカ航空 737 MAX 9 機事故

1月5日、オレゴン州ポートランド市でアラスカ航空のボーイング 737 MAX9 機が離陸後に機体の一部が脱落し、緊急着陸した。国家運輸安全委員会ではアラスカ航空側の過失を否定しており、事故後の調査の焦点は、機体の一部を覆うドアプラグの製造と取付に置かれている。同機の機体は、カンザス州に本社のあるスピリット・エアロシステムズ社が製造しており、ボーイング社のレントン工場において組立及びプラグの封印前の検査が実施されている。737 MAX 9 機は、連邦航空局がドアプラグ問題の検査及び修正に関するボーイングの最終指示を承認するまで飛行停止となっており、アラスカ航空のフライトにはキャンセルや遅れが出ている。[\(1/7 付シアトルタイムズ記事\)](#) [\(1/9 付シアトルタイムズ記事\)](#) [\(1/11 付シアトルタイムズ記事\)](#)

(2) ワシントン州西部に EV 充電ステーションを新たに 180 か所設置

1月11日にバイデン政権が発表した米国全土への6億2,300万ドルのEV充電器助成金により、ワシントン州西部に、EV充電ステーションが180台以上設置されることとなった。現在のところ、米国で利用可能な充電ポートの数は16万8,426か所であるが、同政権は、2030年までに少なくとも50万台のEV充電ステーション構築を目指しており、米国内の電気自動車の販売台数は、ここ数年で4倍以上に増加している。電気自動車の普及で全米を牽引しているワシントン州では、約15万台の電気自動車が登録されており、乗用車としては5年間で6倍に成長している。[\(1/12 付シアトルタイムズ記事\)](#)

(3) シアトル市で一人暮らしの成人が増加

米国勢調査の新たなデータによると、2022年におけるシアトル市の成人で一人暮らしの住民は15万6,000人となり、2019年から2022年にかけて同30%増加した。一人暮らしの住民の75%が賃貸住宅に居住している。シアトル市の総人口に占める一人暮らし世帯の割合は43%である。これは、インフレによってシアトル市における住居費や生活コ

ストが上昇しているにもかかわらず、住民が地方に移住する傾向が見られなかったことを示している。 ([1/11 付シアトルタイムズ記事](#))

(4) シアトル地区の 2023 年の殺人件数が過去最多に

2023 年のキング郡における殺人件数は 141 件と、パンデミック前の 2019 年からほぼ倍増した。同 54 件だった 2014 年以降、ほぼ毎年、増加傾向にある。シアトル市における 2023 年の殺人件数は 69 件と過去最多となり、キング郡全体の約半数を占めた ([1/10 付シアトルタイムズ記事](#))

(5) マイクロソフト社のクリーンエネルギー投資

太陽光発電会社 Qcells 社が、マイクロソフト社に対し 12 ギガワットの太陽光パネルを提供することで合意した。昨年の 2.5 ギガワットのパネル契約に続くもので、両取引を合わせると、マイクロソフト社は今後 8 年間で、180 万世帯の電力を賄うのに十分なゼロ・カーボン発電能力を手にすることになり、全電力を再生可能エネルギーから調達するという同社の目標達成に近づく。Qcells 社は、韓国のハンファ・ソリューションズ社が所有しており、ジョージア州にある同社の新しい工場は、米国内のクリーン・エネルギーのサプライ・チェーン拡大を奨励するインフレ削減法の一環として、米政府から税額控除を受けている。 ([1/9 付シアトルタイムズ記事](#))

(6) ベルビュー市による EV 充電ステーション支援

ベルビュー市では、今後数年間のベルビュー市における電気自動車普及の施策の一環として、市内の雇用主、不動産管理者及びコミュニティセンターに対し、無料又はは割引料金での EV 充電ステーション設置支援を行う。詳細は[こちら](#)から。 ([ベルビュー市ウェブサイト](#))

その他、ジェトロビジネス短信記事より

- 2024 年 1 月 12 日 [「CES2024」開幕、ジェトロはジャパンパビリオンを設置](#)
- 2024 年 1 月 12 日 [米環境保護庁、クリーン・スクールバス購入で約 10 億ドルの助成金受給者を発表](#)
- 2024 年 1 月 10 日 [EV 税額控除対象車両、2024 年以降は 19 モデルのみ、米エネルギー省発表](#)
- 2024 年 1 月 9 日 [世界最大級の先端テクノロジー見本市「CES2024」に先がけ、プレス向けイベント開催](#)

総領事館からのお知らせ

(1) 総領事新年ご挨拶

伊従 誠 在シアトル日本国総領事からの新年のご挨拶です。 [こちら](#)をご覧ください。

(2) 第 5 回成人式 U S A (再掲)

JIA Foundation と在シアトル日本国総領事館の共催により、日米の新成人の門出を祝う式典です。5 回目となる 2024 年は、"Celebrating Wisdom, Courage and Growth"をスローガンに、ベルビューカレッジで開催されます。当館からは角潤一首席領事が、SENP AI として新成人にメッセージを届ける予定です。

【日時】1 月 13 日 (土) 午後 2 時 30 分 (PST)

【会場】Bellevue College Carlson Theatre

(3000 Landerholm Cir. SE, Bellevue, WA 98007)

【参加資格】2002 年 1 月から 2004 年 3 月までに生まれた在米の「新成人」の若者。新成人の国籍は問いません。日本語を学んでいたり日本に興味がある新成人も歓迎。

【参加費】無料

【参加申し込み】 [こちらのリンクから](#) 定員になり次第締め切り

(3) 第 22 回ジャパン・シアトル AI ミートアップ (Zoom 開催) (再掲)

米国の最先端スタートアップを日本に紹介する AI ミートアップが、今回は 2 日間にわたりオンラインで開催されます。各講演は基本的に英語で通訳はありませんが、スタートアップのピッチ毎の解説などで一部日本語を交えます。

【日時】 1 日目： 1 月 23 日 (火) 午後 4 時～午後 5 時 (PST)

1 月 24 日 (水) 午前 9 時～ 午前 10 時 (日本時間)

2 日目： 1 月 24 日 (水) 午後 4 時～午後 5 時 (PST)

1 月 25 日 (木) 午前 9 時～ 午前 10 時 (日本時間)

【参加方法】 オンライン

【参加費】 無料 ※聴講のお申込みは 2 日間通しのみで無料です。

【参加申し込み】 [こちらのリンクから](#)

(4) 特別公演「現役エンジニアが語る最前線の仕事術とは」

新著『世界一流エンジニアの思考法』で話題のマイクロソフトのエンジニア・牛尾剛さんの特別講演が開催されます。詳細は[こちら](#)をご覧ください。

【日時】 1 月 16 日 (火) 5:30 PM – 7:00 PM

【会場】 Redmond Library, Room 2

(15990 NE 85th Street Redmond, WA 98052)

【共催】 Seattle IT Japanese Professionals/ジャングルシティ

【参加費】 無料

(5) 【出展者募集】食品見本市 Bar& Restaurant Expo における「ジャパン・パビリオン」

ジェットロでは、米国・ラスベガスで開催される有力食品見本市「Bar & Restaurant Expo 2024」における「ジャパン・パビリオン」への出展企業を募集しています。

日程：2024 年 3 月 18 日～20 日（18 日は搬入日）

場所：ラスベガス・コンベンション・センター

対象分野：特に、日本産水産物等

出展費用：\$0/booth(10ft x 10ft、約 9 平方メートル)

ペ切：来年 1 月 26 日（金）

詳細については[こちら](#)をご覧ください。

編集後記： 新年明けましておめでとうございます。シアトル市は現在のところ摂氏マイナス 6 度と、この冬一番の寒さです。今日は在宅勤務をしている人が多いせいか、道路が空いていて、いつもより早くオフィスに到着しました。今週末は寒さが続くようですので、皆様どうぞ暖かくお過ごしください。本日のニュースレターが、令和 6 年最初の配信となります。今年もどうぞよろしくお願い致します。

（注意点） 本情報は、ワシントン州の主要な行政機関や団体のウェブサイトの情報をもとに、その時点における当地日系企業・NPO・邦人労働者に役立つ情報を、皆様のご参考として迅速に日本語で届ける目的で発信しているものです。法的助言を構成するものではなく、法的助言として依拠すべきものではありません。実際の申請等にあたっては、該当するウェブサイトで最新の情報や詳細を直接ご確認ください。なお、当館として個別企業の申請書作成等の支援は出来かねますのでご容赦ください。

（免責）

本メール又は当館情報に関して生じた直接的、間接的、派生的、特別の、付随的、あるいは懲罰的損害及び利益の喪失については、それが契約、不法行為、無過失責任、あるいはその他の原因に基づき生じたか否かにかかわらず、一切の責任を負いません。

(領事メールについて)

当館では外国に3か月滞在される在留邦人に対し、旅券法に基づく在留届、帰国・転出等の届出をお願いしております。本届けでメールアドレスをご登録いただいた方に対して、コロナに関する情報や各種安全情報を領事メールにてお送りしておりますほか、緊急時の安否確認を当館から行うためにも必要なものですので是非ご協力ください。詳細はこちらをご覧ください。 https://www.seattle.us.embjapan.go.jp/itpr_ja/zairyu.html

(Unsubscribe:配信停止)

当館が把握しているワシントン州日系企業に本ニュースレターをお送りしております。今後、本メールが不要な方はその旨ご返信をお願いいたします。

Consulate-General of Japan in Seattle

701 Pike Street, Suite 1000

Seattle, WA 98101